

令和5年度事業計画

日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、穏やかな持ち直しが続いています。

その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済を取り巻く環境には厳しさが増えています。

シルバー人材センターを取り巻く環境は、感染症の拡大防止と社会経済活動の両立が求められている中、会員に働く機会を提供することを通じて、生きがいの充実、健康維持、地域社会への貢献を目的とするシルバー人材センターの役割は、さらに重要なものとなっており、同時に、会員や地域社会の多様なニーズに応えていくことが今まで以上に求められています。

こうした状況の中、全国シルバー人材センター事業協会は、平成30年度から令和6年度までを期間とする「第2次会員100万人達成計画」を推進しており、令和4年度は府中町シルバー人材センターにおいても、「広報ふちゅう」に会員募集広告を掲載する等、メディア効果で新入会員が増加する傾向にあります。

一方で、会員数の増加に対応するため、就業場所の確保が必要となりますが、派遣を含めた受注件数は全国的にも頭打ちの状況もあり、ワークシェアリングに努めるとともに、シルバー人材センターの活動を広く町民に知ってもらうため広告メディアの活用、つばき祭り等イベントへの出店を通じて、就業機会の確保に努めてまいります。

また、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、さらなる発展を期すべく高年齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域づくりに貢献できるよう、府中町や、関係機関との連携・協力を強め、次の事業を推進してまいります。

1. 重点事業

- (1) 事業運営の健全化と組織体制の強化
- (2) 会員の増強
- (3) 普及啓発活動の強化
- (4) 就業機会の開拓・確保
- (5) 安全・適正就業の推進

2. 概要

(1) 事業運営の健全化と組織体制の強化

公益社団法人として公共性を重視した事業運営が求められており、理事会をはじめ、各種委員会や職域の活性化と透明性のある組織運営、並びに会員、役・職員の三者が一体となった事業運営を目指します。また、令和5年10月から施行されるインボイス制度の関係機関への丁寧な説明と対応に努めます。

- ① 理事会及び理事部会の活性化
- ② 情報を共有し会員の事業運営への参画を積極的に推進
- ③ 役員、事務局職員に求められる知識、能力の向上のための研修、講習の受講機会の推進
- ④ 透明性を重視した法人運営

(2) 会員の増強

全国シルバー人材センター事業協会が設定した府中町シルバー人材センターにおける目標値である会員数428人を達成するため関係機関と連携、メディアを活用したPRを実施し、センターの知名度を高めることで会員増を図ります。

また、退会者の防止については、加齢により就業を望まない後期高齢会員に対して、独自事業やボランティア等の地域貢献活動の機会の確保・提供に努めます。

- ① 「広報ふちゅう」、バス停看板等メディアを活用した宣伝
- ② 高齢者活躍人材確保育成事業からの新規会員の確保
- ③ 入会希望者への就業機会の早期提供
- ④ 女性会員の入会促進と女性会員のための新たな管理業務等の就業機会の拡充

(3) 普及啓発活動の強化

地域に対し、センターの事業内容や活動を周知するため、各種媒体や各種団体を通じて町民への周知に努めます。

- ① 広報誌「安芸府中シルバーだより」や「ホームページ」の活用
- ② シルバーの日による社会奉仕活動の実施
- ③ 各種イベントへの参加
- ④ 普及啓発促進月間(10月)の実施

(4) 就業機会の開拓・確保

就業機会の拡大は、会員の入会促進とともに事業の根幹をなすものです。受注業務の拡大を図るため、パンフレット等を活用し、会員、役・職員が一体となり就業機会の確保に努めます。

- ① 公共からの継続的な就業機会の確保
- ② 会員の就業ニーズに合わせた個別相談の実施
- ③ 会員の「ロコミ」による仕事の確保
- ④ 広告物による仕事の確保

(5)安全・適正就業の推進

安全就業は全てに優先する重要課題であります。事故ゼロを目指して、会員の安全意識の高揚と安全対策に努めます。また、就業状況が法令に抵触しないよう、発注者と協議しながら適正就業を推進します。

- ① 安全パトロールの実施
- ② 安全用具の貸与(空調服)
- ③ 教習所の主催する安全運転講習会の受講
- ④ 安全標語の募集と啓発による意識の向上
- ⑤ 適正な仕事の受注と提供
- ⑥ ワークシェアリングやローテーション就業の推進